

信州高遠星空観察会②

令和6年12月21日(土)～22日(日)

【対象】星空観察に興味のある家族・グループ

【場所】国立信州高遠青少年自然の家

1. 趣旨

各種望遠鏡を使って、高地特有のきれいな星空を観察し、宇宙や自然への興味関心を高める。

2. 事業の概要

(1)期 日 令和6年12月21日(土)～12月22日(日)

(2)参加者 宿泊：5グループ 21名(大人10名、小学生10名、小学生未満1名)

日帰り：1グループ 4名(大人1名、小学生2名)

※当初全体で41名の参加予定であったが、宿泊で2名、日帰りで18名が当日キャンセル

※当日参加(日帰り)が1グループ(3名)あり

(3)日 程

| | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
|--------------|--------------------|-------|------|---|------|-------------------|
| 12/21 (土) | ※夕食を済ませてからご参加ください。 | 受付 | 開会挨拶 | 指導員による星のお話 プラネタリウムによる星座のお話 300mm天体望遠鏡の見学 雨天のため雨天プログラムを実施 | 入浴 | 就寝 |
| | | | | ※日帰り参加者は帰宅 | | |
| | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
| 12/22 (日) | 起床 身支度 清掃 | 朝のつどい | 朝食 | 清掃 荷物整理 | 退所点検 | 星や星座をテーマにしたクラフト活動 |
| | | | | | | 閉会挨拶 |

3. 企画運営のポイント

- ・「こぐま座流星群」の時期であったため、その観察をメインテーマに据えて案内を行った。
- ・星空観察の事業では、曇りや雨の場合には星空が観察できないため、参加者が当日キャンセルしてもキャンセル料がかからない「日帰り参加」の枠も準備した。
- ・専門的な知識や300mm反射望遠鏡を扱う技能をもっている指導員に講師を依頼し、星空の観察を行うことで、肉眼や双眼鏡などでは見ることが難しい星の様子を観察したり、参加者の夜空に関する見識を深めたりするのをねらった。

4. 参加者アンケートより

- ・プラネタリウムは寝ながらくつろいで見れて、指導の方の話もあり、子どもも喜んでいてよかったです。
- ・寝転がってのプラネタリウムが初体験で、楽しかったです。また参加したいです。
- ・天気が悪く観察できずに残念でしたが、お話やプラネタリウムがよかったです。
- ・クラフト体験は初めてやりましたが、楽しくきれいにできて良かったです。ライトを当てるととてもきれいで素敵でした。

5. 事業中の様子

プラネタリウムを使った星空についての説明・300 ミリ大型望遠鏡の見学



クラフト（「自分だけの星空」づくり）



全体写真



6. 成果と課題

(1) アンケート結果 回収 6 グループ（回収率 100%）

| | | |
|----------|--------------|-----|
| 事業全体を通して | 満 足： 3 グループ | 50% |
| | やや満足： 3 グループ | 50% |
| | やや不満： 0 | 0% |
| | 不 満： 0 | 0% |

(2) 成果と課題

○今回の参加者に関して、半数以上のグループが当施設の事業に「初めて参加した」という回答であった。普段利用しない家族団体に、教育事業を通して利用してもらうという目的は一定程度達成できていると感じる。

○当日は天候が悪く肉眼や望遠鏡での星の観察が難しいことが予想されたため、開会式終了後に「紫金山アトラス彗星」に関する講義を行った。伊那市内で実際に撮影された彗星の写真を示すことで、今年話題になった天文現象をより身近に感じてもらうことができたと感じる。

●星空観察がメインの事業のため、天候の悪い際は参加者の満足度が下がりやすい。しかしながら、代替として実施したプラネタリウムを使った星座の解説が好評であった。このことについては指導員とも共有し、今後のプログラム構成に生かしていきたい。

●今回、参加希望の応募が定員の 6 倍を超えたことから、参加者の決定は抽選となった。当落については事前に全応募者にメールで通知していたが、落選となったグループが当該メールに気づいておらず、当日会場に来てしまった。日帰り希望であったため急遽対応することができたが、今後は応募者への事前通知方法を工夫する必要があると感じた。